

かたしな

9月

平成15年(2003年)

No. 578



今月の主な内容

市町村合併	2~10
できごと	11~13
生涯学習予定表10月	13
バック先生の英語教室・広報文芸	14
おしらせ	15~19
年金広報	15
図書室だより	16
いたずらわんぱく・窓口から	20

千坂橋(せんのさかはし)の橋名板の
取付セレモニーが行われました。
(詳細11P)

問です。観光協会も活動的ではありませんね。活気がありません。何の仕事をしているのか見えてきません。いろいろあるけど、私自身、合併に伴うメリットがよくわからないうけど合併に賛成。

・合併に対してもっと積極的に取り組んでもらいたい。合併に対する情報や利点又は問題の具体的なことを知らせてもらいたい。

二合併に条件がある立場からの意見

○財政・運営面に対する意見

・その時、時代は動いた。合併して、村民のためにやる気のある人だけであとはリストラでよい。

・何年も続いている現状、不況の中で国民は生活の苦しさに耐えている。この中で、財政の中には、ムリ、ムダ、ムラがはびこっている。時にムダを排除するために今のやり方で良いのを見直す必要がある。市町村合併によってムダをなくせる。また何百年も続いている地域の文化は財産であり、歴史を継続していくうえで必要だと思います。

・現状の片品村においては合併を進めるべきである。社会の発展とともに、行政の範囲が広がる当然である。さらにコ

ンピューターの出現によって事務管理の仕事も何倍何十倍の量をこなす事が、容易になった。これからの市町村経営は効率化を図り経費の節減をすることに現在の不況下においてはこれを真っ先に実行しなくてはならない。考え方を変えればこの大木説は旧来の無駄の多い地方行政のあり方を改革する。大きなチャンスである。しかも市町村合併特例法で優遇される今を逃してはならない

・市町村合併については大変難しい問題だとは思いますが、やがては市町村合併をしなればならない時期にさしかかっていると思います。これから先を考えますと、少子高齢化、また財政難など困難なことなどが考えられます。地方が良くなれば国がよくなる、また国全体が平和である事に市町村合併が良い方向につながればよいと思います。

・正直に言えば、合併はしたくない。合併特例法により財政的な国の支援がなくなり財政的に困難が生じる恐れがあるのでやむを得ず合併しなければならぬと考えられる。

・合併を推進する前に、国には税金の無駄使いを止めるべきだと思う。利用価値の無い施設

設を作り続けて維持管理費が毎年億単位の赤字を計上したり、破綻した銀行に資金を投入したりしている。そのしわ寄せを国民や各自自治体に転嫁するのはおかしいと思う。もし合併すれば職場は減り、公共工事の受注も減少して若い人達は片品から離れます。過疎化すると思う。その結果少子高齢化が進み、片品は廃れてしまう。それはとても悲しい。

・もしも合併しなかつたら、今片品村が抱えている負債はどのようになるのでしょうか。ね返ってくるのでしょうか。そう思うと他市町村と合併して負債を減らすことが出来るのなら、是非するべきだ。しかし、かわらないのならしない方がよい。となると、まず合併の議論をする前に、今、村が抱えている負債をどう対処すればよいのか、もつと考えるべきだ。村職員、村議員、公用車など経費削減できることは山ほどある。のんきに宴会、視察と言う名の旅行に言っている場合ではない。今や情報ならインターネットでも十分検索できるのでは？

・市町村合併に伴う資料を頂いたのですが、片品村財政シミュレーションは、臨時職員の

減額5%とあるが、村民には臨時職員数が公開されていないので本当に見直しされているのかわからない。利根村は去年から合併に向かって臨時職員の給料は20%減額となっている。他の村は合併にむけて既に動き出しているのもつと片品村も今の赤字村政を厳しく受け止め、なるべく速く合併体制を作り、税金を納める年代の私達を安心させて欲しい。消防車を三割削減よりも役場の公用車約百五十台の削減を考えた方がよい。(車検費や燃料代など)

・今後十年、二十年先を見て財政難にならないければ、合併はしなくても良いと思う。また合併しないで税金が今より高くなれば合併しなければならぬと思う。

・財政を堅実に運営するための効率化を、身を切る努力と第三者機関の監視の元に実行すれば(目標を決めて)無理に合併する必要はないと思う。永年の上部指導となれあい予算のツケが過大な負債となっている様に感ずる。役場関係職員の労働効率を他の機関を参考に向上させる事が必要であり、同時に住民は多少のサービス低下を覚悟しなければならぬ。

○生活・利便性に対する意見

・もし、合併をした場合、今まで使っていた公共施設は使う機会が少なくなるのですか。村が市になってイメージは良くなると思いますが、僻地的なところが行政から置き去りになるのではないかと心配があります。

・合併しても変わらない。現在の差別をなくしてから次に進んで欲しい。差別とはライフ、水道設備が無い(現在日本)の中で片品が合併した場合、水道設備ができるなら100%賛成をする。

・将来片品村を担う子供の数が少ないのだからいずれは議員や職員を削減する必要があると思う。しかし、役場がなくなるわけではないと思うので行政サービスの面では今ままで変わらない方向でお願いしたい。そして合併しても片品村をいつも誇りに思い地域を大切にしていけると思う。

・片品村の人達が合併を望んでいないのであれば、合併しなくても良いとおもいますが、合併せずに村としての機能を維持できないのであれば、合併するしかないのではないかと感じます。合併するに当たり対等合併と言われておりますが、村と市や町では人口も違うし、

市町村合併アンケートの みなさんからの意見です

問14の「市町村合併についてご意見がありましたらお書きください」という質問についての回答をまとめました。

合併に対する意見は「合併賛成」「合併には条件がある」「合併反対」「その他」の4つに分類しました。

その、それぞれの意見を持つ理由は「財政・運営面」「生活・利便面」「片品の独自性」「その他」に分類しました。

一 合併賛成の立場からの意見

○財政・運営面に対する意見

・片品村の現在の人口割合からして財政的に収入とか支払いなどを考えた場合、町村合併して将来の支出を減らさなければならぬと思います。将来子供たちの為に合併をした方が良いと思う。

・将来片品村は老人の多い所となる様な気がする。若い人達は沼田近くに住むと思う。その時のために合併しておくことが良いと思う。六千人くらいの村に役場の職員が百五十人、車が百台こんな事は将来維持していけなくなると思う。財政面の行き詰まりを将来きたす。

・今後の地方分権の方針、小規

模自治体の財政力、財政悪化等から広域での合併は避けて通れない。長い目で将来を展望した責任ある指導と対応が必要と思う。

・財政面から必ず広域合併が必要となる。先を見据えた指導と、早めの対応こそ利益になるはず。

・近年の社会情勢経済低迷や少子高齢化による国レベルでの財政面の厳しさ、一方で高度情報化等、技術向上による生活環境の変化等、総合的に鑑みて片品村についても合併は必要である。その理由は、一、

地方交付税が、人口規模に応じて単価設定され合併しない場合、収入の激減が予想され行政サービスが維持できないため。二、合併しない場合、

十年間は交付金が維持されるがその後の対等として行政の効率化を図る事が難しいため。役場経費をアカデミックに削減しなければならぬ。

・役場職員を減らす。役場の仕事をPFI（民間委託）する。

・生活レベルを向上させるためにも合併はすべき。

・社会が進歩するにつれて地区によっては、老人家族が多

くなって老人の村になっては困る。ですから合併はした方が良いと思う。

・合併は賛成する。合併により各市町村の議員、職員が削減され経費の削減が図られる分、福祉の充実と総合病院、老人ホーム、介護施設の充実等、合併後の組織は新しい若い人を選出する。今後合併を前提に交通の便と安全のため

椎坂峠の推進合併の条件にする事。トンネルのルートを開くと大原に出るとか、それはダメ。大原から片品に向かつて急な長い坂が二箇所ある。

高戸谷の下街道付近に出るようにする。トンネルは全国の人を利用する。大原のためは将来悔いを残すような事ではダメだ。

○その他の意見

・幾度かの地区別説明会に参加したり、又、自分の身近な人達の意見を聞いてみた。しかし、「なぜ今、特例措置を設けてまでこの市町村合併を国が押し進めているか」という

視点からの考えを聞いたのは若干であった。皆、合併すべきか否かについて判断しかねる故に、地区別説明会に出席しているはずなのに、その説明会でも役所側が製作してく

れた資料に文句を言うばかり。それでいて自らなにかしらの情報収集などした形跡などほとんどない様子とまるで市町村合併をしようとしまいと、全てお役所の責任だと言

いたいかのようだった。特に財政シミュレーションにおいては経費削減の項目で「もっと役場で削減できるのでは」と人任せ、お役所任せ、要するに「それを何とかするのが行政ではないか」と言いたい

かのような意見があったのも記憶している。はたして、そのような考え方のままで、合併せずに片品村が自立していく事ができるのだろうか？正直、私は不安である。上野村のように、財政面にしても確

固たる裏づけをもって、堂々と非合併宣言をするのであればいざ知らず、我が村内での合併反対を唱える人達の大半は、ただ単に、今の馴れ合い

の生活環境を失うのが怖いだけにしか思えない。もちろんしっかりとした自らのビジョンをもって、合併は反対だと訴える方の意見は耳を傾けた

と思うし、イメージだけを追求した合併の考えも疑問だ。私は、はつきり申しあげて、この緊張感もない、まして

も危機感もない馴れ合いの片品村であるならば、今回事

い切って市町村合併に踏み切るべきだと思う。せめて法定協に参加し、そこで新たな議論をすべきだと考える。そして、いかに今まで「馴れ合い

の環境」で生活してきたのかという事実を実感すべきだと。確かに、片品村がなくな

ってしまうのはさびしい事であるが、地域そのものはない

なっている。その地域を生かすも殺すも、行政に頼らずとも何か手段はあるはず。今まで行政に頼りつばなしたものをたたとえひとつでも自ら起こす意思があれば、それを合併

せずに出来れば一番理想なのであろうが、実感としてそうは思えないため、今回私は市町村合併に賛成する。

・観光業をしているので、意見が偏ってしましますが片品村だけの観光でも区別にばらばらなのに、自分の村がきちんとしてないのにふたつの村で何が成し遂げられていくのだろうかのメリットが思いつきません。お客さまは減少する

一方、片品の見所がたくさんあるのに、武尊牧場、スキー場など宣伝もできていない。もう少し統一された村作りが必要ですね。住民感情がどこ

で取り上げられているのか疑

- ・つてゆくような気がします。
- ・箱ものも新しくするばかりが良いとは思わない。利用できるものは直しても使う。大小の違いは有ってもひとつの家庭の中でも大きな町村でも財布は同じだと思う。
- ・もしも合併するなら利根村まで。(同意見一人)
- ・出来れば合併せず特色のある村をめざしてがんばって欲しいです。
- ・財政、交付金を考えるなら合併は必要だと思います。ただしその交付金が片品村の為に使用できるかを考えると不安になります。「合併したい」と考える村民は自分も含め少ないと思います。できることならば、このままで行きたい。しかし、それを考えなければならぬ事情もまたあります。合併するしないにかかわらず、片品村が存続できるアイデアを村民全員で考える必要があるのではないのでしょうか。
- ・新しい統合した名前が誕生した時には片品という名を残せばわかりやすいと思います。字沼田、字川場とか…
- ・合併をしなくても何とかやっつけていけるのであれば、合併は避けたいと思います。片品の良い所が失われてしまいそうな気がするので、合併はして

- ・欲しくありません。
- ・私の思う事は出来れば片品村だけで出来ればよいと思う。日本でも有名な片品村尾瀬片品村の名前。
- ・合併にするなら「片品村」にしてください。
- ・利根沼田九市町村合併については反対である。片品村の地域性から考えて一番不利な地区になる。中心部から一番距離のある地区になりまた地域の声が届きにくくなる。行政の執行は片品の内容の判らない人々が判断することになるので、判断を誤る恐れがある。地域行政というのは顔の見える範囲にするべきである。村の財政問題を除けば現状に不満はない。合併を行わなくても無駄を省き効率の良い運営で生き残る努力を行うべきである。民間企業の生き残り状況を参考に知恵を出せ。役人的発想から民間的発想へ転換すれば道は見えてくると思う。
- ・尾瀬の自然を大切にして後世に残していける様に入場制限をしてもらいたい。山小屋の数を少なくして欲しい。利根村と合併が出来ない時はやめて欲しい。
- ・例えば、先の米国によるイラク攻撃を日本の総理大臣は支

- 持した。しかし、国民一人一人は戦争に反対の人がほとんどであるだろう。国益を考えた外交政策が、長い目で見て国民の利益になるだろうか(戦争に巻き込まれた場合)
- ・市町村合併については村長さんが国と県の考えをよく村民に伝えて欲しい。そして村長さんは総理大臣ではないのだから国の政策の流れがどうであれ、一個人としての意見を村民に伝えてもいいのではないか。村民一人一人も意見が国、県、村長さんと違っても当然の活発な議論が望ましい。

○その他の意見

- ・合併による地域の拡大は人の拡大になり人材の抽出が可能となる。役場においても、議会の議員に於いても多くの人々の中から抽出し、人材を登用、育成し、域内に活性化させる。
- ・現在の社会情勢から考えれば、必要な事とも思えるが、不安要素も大変多いと考ええる。各市町村の現状を明らかにし、どのような条件、見通しを持った合併とするのか、その議論の過程も明確にして欲しい。また住民の意見も十分に配慮されるようお願いしたい。あまりにも興味が無い人が多いことにビックリしました。これからの片品がどうなるのか心配ではないのだろうか? メリットもあるがデメリットも有るのは仕方の無い事。合併するしないどちらになっても、しっかりと受け止めて、これからのことを考えて行こうと思う。
- ・大きな問題なのだから多くの意見を出し合い、しっかりと決めて欲しい。基本的には賛成
- ・住民の方々が他町村の考え方に對して受け入れる気持ちがあるのであれば、良くなつていくと思いますが、協力体制が無いのであれば、やはり難しいのでは…。私としては前向きに考えていきたい気持ちにはあります。これからの子供たちのためにも…。
- ・合併するにせよ、しないにせよ、片品村としてのビジョンを描き早く方向性をだすべきでないか! リーダー(村長)のリーダーシップを期待する。
- ・合併はされてもされなくても住民の一人一人がしっかりと自立して、村の基礎的自治があり、互いに協力しあう関係にあればいいのではないか。合併すれば各職員の異動が頻繁に行われると思いますが、合併しなくても職員の異動をしてもらいたいと思います。

- ・合併した場合の新名称について、尾瀬市(町)だけは止めてもらいたい。あまりに芸がない。
- ・決定は住民投票で決めてください。片品村に良いリーダー(活動的で頭の良い人)がいれば合併しなくても良い。利根沼田全市町村以外の合併は良くない。そんなに考えなくてもどうにかなるのが人生である。
- ・昔から数えれば何回か合併をしてきたのでその時に民衆の心の変化と新体制に同化していく努力と結果からみてなかなか実現は難しい。どちらともいえず。期限付きなどとはもつてのほかである。十分研究した上で合併に踏ん切るか否を決める猶予期間をもつと延ばすように考えた方が良い。
- ・合併するもしないも一長一短あり正直言ってどちらとも判断つきません。しかし、しないと判断するのなら、役場へ責任を押し付けるのではなく、判断した人自身がよほどの覚悟をしないとやっていけないと思います。増税は当然だと思いますし、村の存続には聖域を設けず改革を断行すべきだと思います。
- ・椎坂トンネルさえ出来れば、合

他市の合併で、人口の多い地域の方がさまざまな面で優位になっていると思うので、そういう点で心配です。また、九市町村という大きな単位で合併する事で市町村間の関係が悪くなった時に収集がつかなくなる様な気がします。最後に、村が村として維持していく方法が、本当にないのか良くみなどで考えてほしい。

・今後の子供たちが今と同じか又は上の生活が出来るかが問題で現状が少々悪くても良くなるのだしたら合併は良い。現状だけを考えるとこの合併ならばしない方が良いでしょう。

・お年寄りや、子供、住んでいる人達が住みやすく、人に優しいのなら合併も良いのではないかと思います。

・質問に対してひとつの答えだけとは限らないので一つだけ選ぶのはおかしいー合併するにあたって椎坂のトンネルを開通させて欲しい。

・基本的に合併に対して必要ないと思います。例え合併する事になっても、利根地域の九市町村の合併だけは絶対に止めたほうが良いと思います。合併して大きな市になったら片品や水上などの端の町村では行政サービスなどが今のよくな体制でなくなるため不便

になると思います。現在の片品村が合併を生き延びける道は小さい村だからこそ行政サービスを独自性を持つて行うのが最善だと思います。

・村の財政が大変なのはわかりますが、出来るだけ地域性を大切にもし合併するとしても利根村等の様に今現在ゴミ、体育施設等の相互利用がされている地域にするのが良いのではないのでしょうか。

・市町村合併はよりよい地域づくりにとつて良い事だと思いが、合併する事により失業者が増える等大変な思いをする人が多くなるのであればしない方が良いでしょう。合併する事により補助金が出るからいいという理由だけで行うのであればやめた方が良いでしょう。住民一人一人の生活、気持ちなどを良く踏まえた上で決めるべきであると思う。でなければ合併したとしてもうまく運営していく事は出来ないし、向上する前に低下していくので、よく考えてほしい。

・合併する事のイメージがわからない。判るように絵入りで説明して欲しい。(子供もわかるように)合併により、不景気が回復するなら賛成。しないのなら反対。片品村でも、村の行事が多すぎる。週に一

回休めるか休めない人は役員になると大変なのにそれが毎年、色々な役員にならないといけないのはどうゆうことだ!!(やれる人とやれない人がいる事を分かって欲しい)消防活動も、東小川だと四地区にて活動しているが、鎌田のように統一しろ!!全然村民の主張もへつたくれもないぞ。

・先に、「合併ありき」ではなく、片品村が独自で今後もやっていけるかどうかを、試算して財政的に効率化できるところは削減するなどの施策をしてからでも遅くはないのではないのでしょうか。一村民としてみても「無駄だなあ」と思える所はたくさんあります。村自体が民間の一企業と同じ気持ちで節約すべき所は節約し、必要とされる住民サービスにお金を使うと言う事も考えてみてはいかががですか。それでもどうしても財政的に難しいと判断されれば合併もやむを得ないとは思いますが、合併すればどうしても片品村は中心地からは遠い地域になってしまう。

・沼田に行くのに一番不便なのでもっと時間が短く、例えば高速道路でも出来ればいいなともう十年くらいは思っている。そうすれば考えられる。あ

とは、片品村の役場の人はあんなに人数はいらないと思う。村の行政に関して一番の不満はスクールバスの運行がされていないという事です。近隣の村でもみな実施されているのに当村で行えないのは何故でしょうか？親御さんの送り迎えの負担が与える影響(例えば、母親の勤務条件が厳しくなる等)は大きいと思われる。合併する方がまだいいかな？と思うのは合併した場合、相手先の村に合わせ、スクールバスの運行が期待できるかな？ということがあります。

○片品の独自性に対する意見

・合併しても片品村の名を残して欲しい。

・合併して、何のメリットがあるか考えてみると、毎日の生活に関して、特に、現在の所思い浮かびませんが、教育や医療、福祉の充実が図れば賛成したいと思います。地名は無くとも昔からの伝統などは、そのまま伝承する事は出来ると思います。子供たちの将来を明るくできるように、な形であれば願っています。

・片品村は尾瀬を有している。独立して成り立つのなら合併せずとも良いと思う。村税が高くなるうとも衣食住に困ら

ず生活できれば良いのではないうのでしょうか？現代は豊かになつたとはいえず、「金さえあれば・・・」という物欲に依り心の交流やふれあい不足しています。しかし片品村ではたくさんの世代間交流が行われています。このような貴重な活動は、合併したとたんに減少していくのではないかと不安です。「自分達の村は自分達で何とかしていく」のが一番良いと思います。

・よく解りませんが、合併には賛成です。ただし合併が困難な場合、財政基盤を強化する必要性が近い将来の問題と取りましょう。どうすれば強化できるか？*私はこう提案します。元気で時間に余裕のある高齢者に標的を合わせた観光事業を開発推進する事が全てであると考えます。「高齢者の保養地片品村」いかがでしょうか？緑いっぱい清涼感にあふれた自然が迫ってくる片品村を高齢者に売り込んでみませんか？合併しても、地元の仕事や長く続いていた行事等は護って行って欲しい。合併しても良いものは残して守って行い新しいものだけが良いのではないと思う。古い文化や伝統を受け継ぎ守ることで豊かな心も生まれ育

と思う。できれば合併もしなく
ていいと思います。

・片品村は無理に合併しなくて
も現状のまま運営していける
のではないのでしょうか。日本
全体を見ていると今の日本は
我慢をするときではないでし
ょうか。

・市町村合併をしても、しなく
ても現在の役所の考えを改め
ない限り（国も同様）財政難
は続き破滅の一途をたどると
思う。国もこのままでは破産
するのでは？収入が減少して
いるならば無駄な支出をどう
すれば抑えられるのか、真剣
に考え討論する時がきている
のではないかと思う。例えば
無駄な研修等、「毎年の行事
だから」「例年行っているこ
とだから」「他の市町村も行
っていることだから」今年も
実施しなければの考え方は改
めるべきではないか、全村民
で真剣に討議すれば、排除
できる無駄な出費が数多くあ
ると思う。

○生活・利便性に対する意見

・中心地域から遠い片品では格
差が生じて、合併は不利では
ないか！

・オグナススキー場がなくなる不
安がある。

・市町村合併はいろんな地域で
行われている事ですが、片品

村には必要ないと思います。
もう少し、片品村として、発
展することも出来るだろう
し、やっぱり「片品」という
地名が無くなるのは寂しいで
す。隣の利根村や川場村、利
根郡、沼田市とも合併という
形ではなくて、協力して施設
を作ったり、ゴミの回収等が
できると思います。

・合併すると中央中心型になり
がちで僻地の集落はなおも取
り残されて、行政から私生活
にいまより地域が取り残され
ると思う。

・市町村合併すると役場が遠く
なったりサービスが行き届か
なかつたりする可能性が少な
くなると思います。夫を身障
者にもつ看護人の私たちには
不便な事の方が多くなると思
います。

・合併した場合、範囲が広けれ
ば広いほど片品は行政中心部
から遠くなり、住民への行政
サービスが低下すると思いま
す。小さい村は小さい村なりの
行政を行う事が大切だと思う。

・町村合併について、範囲が広
くなり、細かい行政が出来な
くなるので合併に反対です。

・沼田市を中心に合併すれば必
ず数の論理で沼田市が実権を
もつことになる。はつきり言
って沼田市の行政に期待でき

るものは一切ない。それどこ
ろかますます少数派排除に拍
車がかかるかもしれない。腐
りきった市議会に比べたら、
まだ郡部は健全さに希望がも
てる気がする。人口の密な地
域と決定的に違うのが交通
網。自家用車に頼る現状で、
広域交流は不可能。かといっ
て地理的にこれ以上の改善は
無理だろう。今のところデメ
リットしか思いつかないが、
まだ判断（結論）を下すには
至らない。もつと情報を集めあ
らゆる角度から検討したい。

・合併には反対です。でも、合
併の期限が迫り、職場内でも
いろいろなることを真剣に話し
合う事が出来た事は良かった。
仕事について、地域につ
いて、これからの事等今まで
以上に身近に感じ、冷静に考
え直す事も出来ました。どう
することが一番良い方法なの
か・・・？あとは、良い舵取
りをしていただきたいと願う
だけです。

・片品村は沼田市に比べると子
供の医療費負担も入学前まで
と長く、又児童手当等もあり
子供を養育する為の援助は進
んでいると思います。また、
老人福祉サービスもきめ細か
くとても水準が高いと思いま
す。これらが、合併によりサ

ービスの質の低下や、負担増
になってしまっているのでは
ないかと心配です。高齢者の
独り暮らしの方などは役所へ
手続きに行く為に中心部へ
その都度足を運ばなくては
ならなくて大変。現在は何
でも（申請）をしなければ
お金が戻ってこない方式に
なっていると思う。（高額医
療費の父や母、私たちの老
後を考えると暗いというイ
メージ）

・合併は何か必要なのか考
えてもよくわかりません。な
ぜなら、合併しなくても病
院や体育施設図書館等も利
用可能ですし、合併後のデ
メリットの方が大きいので
はないかと思われま。住民
一人一人へのサービスを考
えた時には村が小さいけれ
ば小さいほどきめ細かいサ
ービスが出来るのではない
かと思われま。財政難だ
と言ふ事も理解できません
が、その割には無駄な支出
も多々あると思います。小
さいな事も一つ一つなく
す事で無駄な出費は防げる
のではないのでしょうか？健
全な納税者としては自分
たちが納めた税金は大切に
使っていきたいと思ってい
ます。主に財政的理由によ
り合併問題が浮上してきた
のだと思いますが、明治の
いつごろから

か地理的条件で今の町村に
分かれてきたのは、やはり
生活する上で便利だったの
でしょう。交通、情報手段
も大きく変わりましたが、
日常生活の上では範囲が
あまり広がると不便にな
ります。合併が避けられ
ないなら必要最小限で
行い、あとは節約に努め
るべきだと思います。合併
によって行政サービスの充
実あるいは低下はどちらに
なるか今のところわかり
ません。

・片品村農協がJAに加入
してないのと同じように市
町村合併をしても片品村
独自でやっていける気が
する。地理的にも片品村は
端に位置するので合併対
象から外れたとしても問
題はないかと思われま。役
所（役場）が中心部に移
動すれば不便なことが多
くなると思う。特に独居
老人などは・・・

・市中央ばかりが発展し、
山間部がいろんな面で取り
残されると思う。行政も
中央中心になり、現在利
根沼田で大きな工場も
なくこの不景気で合併し
てよくなるか不安がいつ
ぱいだと思ふ。人口が増
加する方法もなく、大都会
へ若者が出たまま帰って
こない、魅力ある村、働
く場所が欲しいと思いま
す。合併とか騒がれて

- ・併でもなんでもやってくれ。
- ・最終的には住民投票によって合併するかしないかを決めてもらいたいと思います。
- ・合併の決断の前に1合併した地域の公表、2他の地域の推進状況の把握検討、3判断するための方法を何回でも行う。a住民投票の検討、b有識者を含めた公聴会、c決断は目先の案件、個人の利害にとらわれず、大きな視野で将来の子孫に喜ばれる祖先でありたい。合併した場合、画一的な行政にとらわれず、地域の特性を生かす。国道四〇一号線福島県への自動車道路建設復活、国道一二〇号線年間開通、椎坂トンネルの早期開通、河川改修は自然景観を重視した工事、堤内地の早期有効利用。
- ・合併はあまりいいとは言えないと思う。私は合併するのであればもう少し話を詰めて合併を考えて欲しいと思います。
- ・沼田市とは合併しない。
- ・合併するには片品村と利根村との合併を一旦する様に考えたらよいのではないかと思う。村民はみんな市と合併したら大変と税が変わるのではないかと思う。
- ・このままの行政のやり方では合併しなければやっていけない

いと思います。しかしこの村を自分たちの力でなんとか残していく、そういった村民の気持ちや行政がしっかり考えていければ片品村を残していけると思っていますので行政の手腕に期待しています。

・最初に揚げ足をとるようで申し訳ないのですがこのアンケートを作った職員は何も考えなく「行政サービス」と言う言葉を使っています。行政サービスではなく職務、業務であると思います。職員の考え方がまず間違っているのではないのでしょうか。窓口では、役場に入っていくと誰も挨拶をしないのに驚きます。「今日何の用で来たか」「でも小学生でも出来ると思うのですが。役場に用事がなくて行く人はいないのでから・・・。週休二日になり職員は楽になったと思います。

・太田市でも行っているように土曜、日曜の窓口業務を行って欲しい。

・行政の合併に対する意識があるのかないのかがわからないう。全ては村民が決める事といつて村民の質問に対する答えがあやふやである。本来行政がやるべき事は、村民に対して十分な理解を求めるよう

な行動を起こさなければならぬ事である。特に将来を担う三十代、四十代の人達の意識と理解を求める事が急務である。これをしないで、村民に合併に対する賛否を求めるのは愚かとしか言えない。期限を気にせず慎重に村としての対応を考えて行つたほうが良いと思う。これからの村、地域には何が必要なのか？

三合併反対の立場からの意見
○財政・運営面に対する意見

・合併するか、しないかにより地方交付税が多少変わるらしいのですが、合併しない場合の交付税は片品村に交付されるのであり、片品村の判断で使えるものです。合併した場合の交付税は沼田に交付されるものであり、旧片品村に使用される可能性はかなり低いと思います。また、十年後には合併してもしなくても地方交付税は同額になるとのことです。新沼田議会で議論する場面に中心部の沼田を發展させるのは旧、周辺の町村も利用するのだから、という大義名分が立ちますが、沼田の都市計画を一時ストップしてある特定の旧周辺町村を發展させるため力を入れる

・片品村はわりと財政が安定している

とってマイナス面が多い気がする。

・市町村合併は中央部を避けるが枝葉のような遠い部分はますます衰退していく一方であろう。何とか合併せず村の財政をスリム化し、この難極を乗り切つていった方がいいのではないのでしょうか？

・市町村合併する必要はない。すべきでないと思う。観光と農業の村片品は村の観光資源を守りどう生かすかを考えるべき。今一番心配なのは、村営のスキー場他、三ヶ所ある村が営業しているものを全部やめるべきだと思う。今、村長初め三役と村会議員数名で決めて営業しているようです。毎年、赤字経営は必死です。このような重大な事は村民に問う必要があると思う。赤字になったものの責任は誰がとるのか？あやふやな形で営業すべきでない。このようなことを見直して村の経済を一旦から改善すべき。行政をガラス張りにし村民参加（村民の声）聞く村にしてみたら少子高齢化又は村の財政難が市町村合併の理由となるならば、今後は経費の節減、節約をはじめ、村の行事を圧縮して取り組んで欲しい。村民も我慢しお互いが納得して今日まで気づい

た片品村を維持したい。「村民一人一人が豊かな（自然を守れば、自然が村民（片品村）を守ってくれる）歴代の村長さんが築き上げた村民の心を二、三ヶ月で結論を出すのはどうかと思う・・・。合併せずに二歩後退し、一歩進みましよう！

・合併反対財政的に苦しくなると思われのなら知恵を出し合えばいいのでは。また節約を、合併には反対ですが、片品村はかなり財政が困難だと聞いているが、行政のあり方をもっと根底から見直す必要があると思う。例えば村議や片品村の職員、役場所有の車を三割減らした方がいいと思う。役場の中の課を減らせれば各課の所有としている車を少なく出来ると思う。足りない行事の時はその日だけチャーターしても年間の経費よりは少なくて少ないと思う。民間の会社でも職員を減らし頑張っているのだからクルマもない公務員は税金の中で給料をもらっている事を自覚してもらいたい。福祉について、村内のもっと隅々にバスを通して欲しい。今から必要でない施設を除去し、なるべく借金をなくし片品村で出来る財源（水、尾瀬の入金）を作つたらいい

大きく揚げて推進している。観光を始めとして諸々の面で大きく役立っている。

- ・長期的な見方が大事だと思います。確かに財政問題は直近の一番の問題とは思いますがまず片品の置かれた状況を正しく認識する必要があると思います。片品はその与えられた自然を生かした道を目指すべきです。観光をメインに置いて周辺産業を発展させていくべきです。他の地域にこれほどの資源はありません。もつと戦略的に観光産業に取り組むべきです。

- ・尾瀬、武尊、丸沼、この美しい自然が維持できなくなるので反対。

- ・地方交付税も国会で議論され日々状況が変わり、貧乏な村が合併してよくなると思えないが「南尾瀬村」とネーミングを変え、自己責任のもとにもつと村に対して一人一人が責任を持つ意識が大切。やはり合併はキケンに思う。

- ・片品村は市町村合併をする必要が無いと思う。片品は日本でも有数の観光資源がありこれをどう生かすか、育てるかという事を村全体で進めるべきだと思う。農業においては村の生産できるリンゴ、トマト、大根等ブランドとして片

品の味を大事にして農業後継者の育成をして農業の方向性を出していく。

- ・市町村合併反対のものです。片品村で生きていくには村の良い所を生かし片品でなければ出来ないと思うような事を見つけてみてはいかがなものでしょうか？こんなにおいしい水、山、空気、自然環境に恵まれた片品。もう少し頭を使い体を使って考えていくのもいいかと思えます。

- ・観光の面でも知名度が片品村は上がってきたのにまた一からでは何か不安まで感じます。

- ・広報等で合併問題についてよく目にしますが、合併のメリット、デメリットをもつと簡潔にまとめてもらえるとありがたいです。合併によって財政基盤が強固になったとして具体的に住民がどんなより良いサービスが得られるのかわかりやすく示してもらえると合併に対する自分の態度もはっきりするよな気がします。

○その他の意見

- ・合併するとかえって面倒なことが起きると思うので合併は望んでいません。

- ・今まで通りで不都合は感じられない。合併によつて混乱する。利点だけ聞けばやはりすぐにもともと思うけれど、その陰に

は不便になることの方がたくさんあるよな気がします。普段はあまり必要がなくてもいざという時の書類の準備とか、一番に思いつくのですが交通の面でも合併すればバスの便の回数は増えますか？

- ・運賃は安くなりそうですか？逆のような気がするのは無知な素人判断ですか？ちよつとした事で不安が大きくなつていくのも無知なせいでしょうか？けれど何にしても合併する時はする。しなくてもよければならない。どちらに転んでも従わなければならぬので、成るように成るんですよ。

- ・合併に対しては反対です。私たちにメリットは無いと思えます。

- ・市町村合併は絶対反対です。合併は必要ありません。

- ・日本の現状はこんな対処療法的な対応でほんとに国を造るのでしようか。最近の国の歩みはまさに第二次世界大戦前夜の様相そのままです。今ほとんどの意味の政治家の出現を期待したいが、上から下まで一人も見当たりません。あの対戦で反省の上に立つて平和憲法が出来た事を知つてか知らずか、終戦の次の日に戦いは負けるのが解つていた私は最初から反対だったと昨日ま

で国の手先となり国民を駆り立てていた政治と昨今の日本の政治が私には重なつて映る。日本国民の苦しみを考えたくない。子供や孫の時代が平和であるように祈つてやまない。

- ・合併しないでいいと思う。合併して欲しくない。

- ・合併しても良くなることはひとつも無いと思う。

- ・何のための合併なのか。小さい村に利益があるのか疑問だ。

- ・出来る事なら合併せずに現在の形でいけばいいと思います。

- ・合併は絶対反対です。今までの片品村でいいです。絶対この片品村を守ってください。お願いします。

- ・合併はあまりしたくない。今まで通り片品村でいい。何とか頑張つてこの財政難を乗り越えて行けば何とかなる。役所に行くのに二十〜三十キロも遠い役場が、又、教育、通常いろいろ大変だと思つて。その他も大変問題がある。

- ・他村が苦しい時片品村は独自の行動を取つておいて！いまさら甘いでしょ！ゴミの問題でも他の事でも合併されたら困るものども賛成しないんじゃないでしょうか！

- ・反対！住民の必要から生じた議論でなく、上から押し付け

られたものだから
なせそんな事をしたがるのか
知りたい。

- ・実際問題、私の周りには広報読んでいる人もあんまりないし、みんなと話していても合併の事について詳しく知らない。もしこのまま何も解らずに合併に至つてしまつて「片品」という名前が無くなつてしまふのなら悲しい。自分から知る事をしないのはだめだと思つてもつとみんなに知つてもらえるように頑張つて欲しいと思つています。とりあえず合併には反対です。

四その他の意見

- ・観光にかかわる仕事をしている人が村内には多いと思えますが、お客さんの減少で民宿業者の者はそれだけで生活できない状態です。ペンション・民宿の人でそれだけで生活している人はおそらくゼロではないでしょうか？その割りに組合費、防火協会、衛生協会費など払うものは減るどころか増えている様な気がしますが。長くやってきた家業を続けたいという思いで、あるいは毎年きてくれるお客さんの為にという思いで続けていますが、先の事を考えると心沈むと思います。せめてプラスマイナスゼロでやっていける程

できごと

国道四〇一号 新設橋梁の橋名板取付セレモニー

七月二十八日(月) 国道四〇一号土出戸倉バイパスに新設された千坂橋(せんのさかはし)の橋名板の取付セレモニーが片品北小の六年生四人の手により行われました。

今回行われたセレモニーは、新設される橋に地元片品北小学校児童で文字作成をしていたたき、設置をしたものです。選ばれた児童は、この橋から見える美しい片品川の溪谷と共に

に良い思い出にしていただければ幸いです。最後に、ご協力いただきました多くの児童並びに先生方大変お世話になりました。沼田土木事務所 鎌田事業所

片品北小学校六年生

萩原 麻美さん 「千坂橋」

萩原 未央さん 「片品川」

高山 早季さん

「平成十五年七月完成」

梅澤 怜大さん

「せんのさかはし」

れています。

本大会を成功させるため、競技関係者、村民皆様の特段のご協力をお願いいたします。また、リハーサル大会を本年

十月に開催

致しますの

で、併せて

よろしくお

願いたし

ます。



ねんりんピックぐんま片品村実行委員会設立総会開催される

平成十六年十月に群馬県において、『第十七回ねんりんピッ

クぐんま』が開催され、本片品村では二千名の選手が参加する

らえ、競技団体・関係各種団体のご協力を得て標記実行委員会

を設立いたしました。

毎年一万人近くの選手が参加

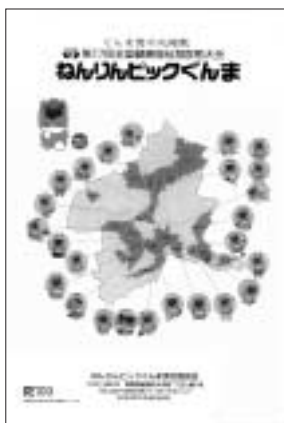
するこの大会は『ふれあいと活

力ある長寿社会を実現するため

積極的に社会参加に取り組み、

その活動の意義について広く国民の

理解を深めること』を目的として昭和六十二年から開催さ



『マラソン交流大会』が片品中学校校庭及び周辺を会場として行われます。

この全国的な大会の完全を期すため、又『遙かなる花の谷かたしな』をPRする絶好の機会と

トライやるスपोर्ट・K「赤城山ハイキング」

朝7時、赤城大沼の駐車場に集合し、準備運動のあと、2班に分かれて出発しました。頂上では、コンパスを使った地図の見方や三角点についてなど講師に指導していただき、楽しい山

登りになりました。

昨年の武尊山は、雨のために

頂上をあきらめた班もありまし

たが、今年の黒檜山は快晴では

ありませんでしたが、雨に降ら

れず参加者全員が頂上を極め、

下山することができました。

「来年は、谷川岳がいいね。

富士山も一泊すればいいからね。」などという話がでいま

した。



度の収入が欲しいのですが、こんな事は私共が言わなくても関係者の方々は重々知かと思えますが考えれば考えるほど、むなしくなりやり切れません。今更と言う気もしますが・・・。

・財政負債の裏づけが解らない
ない状況のアンケート調査はあまり意味がないのでは。仮に合併反対が多数であった場合、村並局、議会は反対方向に進む事が出来るのかどうか疑問である。国、県からの大きな流れの中で反対表明が出来るのかどうか、苦しい事も村民に知らせる事が必要だと考えております。任意協から法定協へ入る場合にもう一度民意を問う事が必要と思います。
・市町村合併をする前に、行政立法側（村議員等）の勉強不足が目立つと思う。片品村村議の選挙の際も、ただの村の人気者でなく、行政（特に合併に必要な知識に精通している人等）の登用が必要であったと思う。地方税、地方譲与税等の交付が減る中で、合併後の経済特区の新設（例えば片品村であれば観光特区等）合併後の政策を説明すべきである。合併についての市民村民側の予想されるメリット、デメリットを明確にするべき

である。今の状態で合併をすれば地方分権の独立は不可能であると思う。又、開かれた行政にするため市町村合併についてのオンブズマン制度も開設すべきである。

・村財政シミュレーションについて、村道工事請負費、受益者負担三割については人と人との話し合いで行われるわけで、人气が悪い地域では、強制脅迫的行為がまかり通るような地域では難しいと思う。地域から要望が出た場合地権者には地区組長が願いに行くわけですが、要望を出した本人が地権者に嫌がらせをする地域では合併するしないにかかわらず、これからの村、人が心配です。村づくりの基本、社会的秩序面などにもう少し力を入れて欲しいと思う。

追記

この自由意見については、皆さんの貴重な意見をできるだけ載せましたが、同様の意見については紙面の都合上省いたものもあります。

この記事についてのご意見がありましたら、総務課 市町村合併担当までご連絡下さい。

電話 58-2111

参考資料（平成15年度）

片品村職員数 116人（内訳：一般行政職70、保育士16、保健師4、技能労務職7、公営企業関係19、）
公用車数 100台（内訳：一般車36、マイクロバス3、ダンプ、軽トラ作業車11、消防車30、除雪車6、圧雪車5、小型ブル2、従業員送迎車5、身障特殊車2、）

第7回利根沼田市町村任意合併協議会が片品村で開催されます

9月22日（月曜日）午後7時から片品村役場2階農林研修室を会場に、利根沼田市町村任意合併協議会が開催されます。

予定ではこの会議が、最終の任意合併協議会で、法定合併協議会設置準備への協議がされ、非常に重要な会議となることが予想されますので、傍聴できる方は是非ご出席下さい。

できごと

地域教育力推進協議会開催

今回の協議会では、地域と学校が連携協力した奉仕活動・体験活動推進事業の概要、北小学校区で行っているパートナーシップ推進事業、各団体で行っている子ども向けの行事などについての協議がなされました。子ども達に不足しているものは、奉仕活動であり、体験活動です。この奉仕活動・体験活動の在り方を多くの人で考え協議していくことは、子ども達の生きる力を育む上で大切なことで

はないでしょうか。パートナーシップ推進事業での子ども達との交流事業や各団体が実施している子ども向けの事業など、子ども達の体験活動に多くの方が御尽力いただいていることに感謝申し上げます。



子どもクラブT・K「宿泊活動」

曇り空、「なんとか天候がもってくれば」、こんなことを考えながら始まった宿泊活動。

レクリエーション、そば打ち体験、班別活動（植物観察、探鳥）、野外炊飯と順調に進みましたが、キャンプファイヤーがキャンドルサーブスに、ウォークラリーが中止になりました。今回の宿泊活動は、4食とも自分たちで作って食べました。なかには、ご飯をまるこげにした班もありましたが、食べられ

ない班はありませんでした。北毛青年の家をでたあとは、ぐんま天文台によりました。天候が回復し、太陽のリアルタイムの映像を見ることができました。

参加した子どもたちは、きつといい経験になったと思えます。



生涯学習予定表 10月

☆生涯学習講座関係

子どもクラブT・K 「リコーダー講習」 11日

寿大学 「手作りパン焼き」 11日

第六回「古文書を読む会」 11日

☆社会体育関係 13日

・第41回郡民体育大会（昭和村）

・村民ソフトテニス大会

・壮年ソフトボール大会

・家庭婦人バレーボール大会

☆学校関係 下旬

◇共通

・全国環境フェア 16日

・県民の日（休業日）

◇小学校共通

・就学時検診 28日

・郡小学校陸上記録会 7日

・県小学校陸上記録会 6日

◇片小

・バス旅行（一・二年） 28日

・バス旅行（三・四年） 7日

・子育て講座（来年度就学児保護者対象） 6日

・六年尾瀬学習 3日

・PTA奉仕作業 2日

・マラソン大会 9日

◇北小

・避難訓練・集団下校 27日

◇南小

・バス旅行（一～五年） 31日

◇全校遠足（尾瀬） 10日

・奉仕作業（スキー場） 9日

・校内持久走大会 18日

・PTA奉仕作業 9日

・武尊根小 6日

・奥利根水源の森、森林学習 1日

・子育て講座 1日

・新体力テスト 9日

・グラウンドゴルフ交流会 6日

・持久走記録会 1日

◇片中

・二年生職業体験（二日目） 31日

・PTAあいさつ運動 16日

・校内マラソン大会 1日

・PTA環境整備作業 3日

・緑のキャンパス 3日

・学校一日公開参観日 21日

・環境奉仕日 21日

・郡市中体連駅伝大会 22日

・ヘリコプター搭乗体験学習（三年生） 22日

☆その他 5・20日

・書道教室

※予定が変更される場合がありますので、予め御了承ください。

できごと

区対抗野球大会兼町内対抗野球片品予選会

八月四日(月)から八月二十二日(金)にかけて片品中学校



熱戦 決勝戦

校庭において、第十二回区対抗野球大会兼平成十五年度町内対抗野球片品予選大会がナイターで開催されました。

大会は熱戦を勝ち進んだ第八区と第五区が八月二十二日に決勝戦で対戦し、接戦を制し、みごと第五区が優勝の栄冠を手に入れました。また、優勝した第五区は、九月二十日から月夜野町

で開催される第四十九回群馬県町内対抗野球利根沼田支部予選会に片品村代表として出場します。



第5区 優勝

第二位

第四区

第六区

なお、大会の結果は次のとおりです。

優勝

第五区

準優勝

第八区

第12回区対抗野球大会
決勝戦 7回時間

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
第5区	2	0	1	2	0	1	1			7
第8区	3	0	0	0	1	2	0			6

第七回子ども会球技大会



1区



3区

平成十五年八月三日(日)片品中学校校庭・体育館で第七回片品村子ども会球技大会を開催いたしました。

男子がスローピッチ

男子の部

優勝

第三区子ども会

準優勝

第四区子ども会

第三位

第一区子ども会

第二位

第六区子ども会

女子の部

優勝

第一区子ども会

準優勝

第三区B子ども会

第三位

第二区子ども会

第二位

第四区子ども会

第三位

第四区子ども会

結果は次のとおりです

男子の部

第三区子ども会

Bブロック優勝

以上の結果でした。

参加した第一区、第三区、の選手・役員の皆さん大変お疲れ

さまでした。



第三十二回利根郡子ども会球技大会

平成十五年八月二十四日(日)新治中学校校庭・体育館で第三十二回利根郡子ども会球技大会が、郡内八町村の代表が参加して開催されました。

片品村参加チームは男子が片品大会で優勝した第三区子ども会、女子が優勝の第一区子ども会、準優勝の第三区子ども会が参加いたしました。

かかし大募集!!

おもしろくて、
楽しいかかしを待っています



昨年のグランプリ
「アンパンマンかあちゃん」

グランプリ賞品

片品村商品券5万円分

その他各賞多数設定

かかし祭り（10月1日～19日）
の出品作品を募集しています。

- 応募作品／手作りのかかし
- 作品規格／高さ1m以上とし、
期間中屋外で耐えられるもの
- 申込先・問い合わせ先／電話等
で9月26日までに、花の駅・
片品「花咲の湯」へ
- 会場／花の駅広場
- 主催／かかし祭り実行委員会

「ぐんま文化観光社（案）」を実施します

「ぐんま文化の日事業」の一環として、地域の文化資源（人・生活・自然など）を活かした地元住民との交流事業「ぐんま文化観光社」を実施します。事業の概要は、次のとおりです。

1. ぐんま文化観光社とは

この事業は、地元住民が中心になって企画するもので、「新たな出会いから何か生まれる」を合い言葉に、人と人との出会いを大事にした「片品の宝もの」を積極的に発信し、公募で選ばれた参加者との交流をとおして、片品の良さを再発見する取り組みです。

また、一郷一学塾講師の協力を得て、参加者や地元住民を交えながら様々な視点から地域の良さを明らかにし、「広い意味の観光」として新たな観光の視点を探っていきます。

2. 主催：ぐんま文化会議・群馬県・片品村

後援：群馬県教育委員会・片品村教育委員会

3. 概要

(1) 日程

平成15年11月22日（土）～24日（月・振休）
22日（土）午後 現地活動「片品の宝もの探し」・分科会（泊）
23日（日）終日 現地活動・分科会・全体会・交流会（泊）
24日（月）午前 全体会

(2) 会場及び内容

○会場

・片品村内各所

○内容

・現地活動：地元が作成したマップで「片品の宝もの探し」を行なう 村内各所
・分科会：出合った宝ものについて意見交換 村内各所（宿泊地周辺）
・全体会：各分科会の報告と全体の意見交換 会場未定
・交流会：内容未定

(3) 参加者

・県民を対象に参加者を公募する（9月）
・参加人数、参加費等の詳細は、今後、協議しながら決定していく

(4) その他

・分科会及び全体会の運営に一郷一学塾講師陣の協力をお願いする

4. 受け入れ態勢

8月11日に片品村内の地域づくり団体や支援団体の方々にお集まりいただき、受け入れ態勢の整備について検討していただき、越本の入澤誠さんが委員長に選任されました。今後、委員長を中心に組織づくりや企画運営の準備を進めています。

5. ボランティアスタッフ募集

すでにスタッフの方々が、各地域の宝もの探しや組織づくりなどの活動を展開していますが、さらにこの事業を応援するボランティアスタッフを募集します。開催日一日だけでもOKです。詳しい内容をお知りになりたい方は、役場総務課「ぐんま文化観光社」担当〔電話58-2111（内線15）〕までお問い合わせください。

おもしろせ

年金広報

国民年金は20歳以上60歳未満
の人全員が加入します

日本に住んでいる20歳以上60歳未満の人は、国籍や職業にかかわらず、必ず国民年金に加入します。
加入者はその人の職業等によって、次の3種類に分かれます。

● 第1号被保険者

農業・自営業の人や学生など

● 第2号被保険者

厚生年金や共済組合に加入している人

（会社等に勤務している人や公務員など）

● 第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者

（おもに専業主婦など）

※任意加入被保険者

次の人は、希望すれば国民年金に加入できます。

- 60歳から65歳未満で、老齢基礎年金を受ける資格を満たせない人や、満額の老齢基礎年金が受けられない人
 - 海外に住んでいる20歳以上65歳未満の日本人
 - 昭和30年4月1日以前に生まれた人で、老齢基礎年金を受けるための資格期間が足りない人
- （70歳になるまでの間で老齢基礎年金を受ける資格期間を満たすまで）



Culture Comparison: 文化の比較 :

This summer, I discovered how much Japanese children like beetles.
 この夏私は日本の子どもたちがカブトムシをととても好きなのがありました。
 In my country, we don't like insects very much.
 私の国では昆虫はそんなに人気がありません。
 In fact, we dislike big bugs even more than small ones.
 小さな虫より大きい方が嫌いです。
 So, Japanese beetles are frightening to me - they look like monsters from a horror movie!
 カブトムシを見るとぎょっとします。 ホラー映画の怪物のようです。
 But, in America, I kept a lizard as a pet.
 でも、私はアメリカではトカゲをペットにしていました。
 When I show pictures of my lizard to Japanese children, they say my lizard is scary!
 日本の子どもたちに私のトカゲの写真を見せたら気持ち悪いといっていました。
 Isn't it interesting how different cultures react to the same creatures?
 文化の違いによって同じ生き物に対して違う反応を示すというのは面白いですね。

Key words: キーワード :

beetle	カブトムシ	horror	恐怖
insect	昆虫	lizard	トカゲ
bug	昆虫	scary	こわい
frightening	ぞっとする	react	反応する
monster	怪物	creature	生き物

Question: 問題 :

Which do I like better, beetles or lizards?
 私はカブトムシとトカゲのどちらが好きでしょうか？

Last Month's Answer: 先月の答え :

Yes, Americans drive on real streets when we take the driver's license road test.
 アメリカでは運転免許の路上試験は実際の道路で行われます。

September Celebrations: 9月のおまつり :

9/22 Dear Diary Day

日記の日 (国際)

Do you write in a diary? If not, try writing in one today. You can write in English, too!
 日記をつけていますか。つけていないようなら、一日書いてみましょう。英語で書ければ最高！

9/27 World Tourism Day

観光の日 (国際)

Katashina is lucky that we attract many tourists here each year.
 Congratulate yourselves and your friends for the hard work you do to encourage tourism!
 片品村には毎年多くの観光客が訪れます。
 観光振興に尽力している人たちに幸いあれ！

鎌田 星野 芳江	水引の紅の走れる草の中	鎌田 中村 導子	水鏡こわして清水すする夏	鎌田 吉野 道子	紫陽花や岩にせせらぐ岩清水	鎌田 星野 トミエ	夏椿散りてはかなき花むしる	鎌田 星野 光子	絵手紙を飛び出しそなた赤トンボ	鎌田 横坂 末吉	パイアヤを挽ぎしラパール想ひ出す	鎌田 星野 久代	尾瀬よりの雨雲迅し柳蘭	鎌田 寺岡 貞子	夏盛り並木の緑借り歩き
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	幼な日にもぐる不思議や手の花火	鎌田 吉野 道子	郭公を遠くにきいて墓洗ふ	鎌田 星野 トミエ	風鈴の澄みし音色に遠花火	鎌田 星野 光子	時代劇好む主人や夜の秋	鎌田 横坂 末吉	艦砲を浴びし真夏の終戦日	鎌田 寺岡 貞子	高原にあがる歓声西瓜わり	鎌田 寺岡 貞子	夏盛り並木の緑借り歩き
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	思ひ出は若きまなり夏薊	鎌田 吉野 道子	農一途律儀に生きて畦を刈る	鎌田 星野 トミエ	野いちごや蛇倉峠下り路	鎌田 星野 光子	祖母見舞ふ一輪挿しの百日草	鎌田 横坂 末吉	百合の香を風が乗せ来る何処より	鎌田 寺岡 貞子	胡瓜這いわが物顔で隣畑	鎌田 寺岡 貞子	迷い来しクワガタ家の一員に
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	野いちごや蛇倉峠下り路	鎌田 吉野 道子	終戦日夢中で生きた七十年	鎌田 星野 トミエ	一時を夫婦で語る露台かな	鎌田 星野 光子	夕間に紅花におう雨上がり	鎌田 横坂 末吉	胡瓜這いわが物顔で隣畑	鎌田 寺岡 貞子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 寺岡 貞子	胡瓜這いわが物顔で隣畑
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 吉野 道子	幼児来てにわか禁煙盆座敷	鎌田 星野 トミエ	少年の青虫ねたる雲雀の子	鎌田 星野 光子	雨に落つ根元に赤き夏椿	鎌田 横坂 末吉	胡瓜這いわが物顔で隣畑	鎌田 寺岡 貞子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 寺岡 貞子	胡瓜這いわが物顔で隣畑
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 吉野 道子	雨に落つ根元に赤き夏椿	鎌田 星野 トミエ	雨に落つ根元に赤き夏椿	鎌田 星野 光子	風呂敷は西瓜の形孫来る	鎌田 横坂 末吉	胡瓜這いわが物顔で隣畑	鎌田 寺岡 貞子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 寺岡 貞子	胡瓜這いわが物顔で隣畑
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 吉野 道子	風呂敷は西瓜の形孫来る	鎌田 星野 トミエ	風呂敷は西瓜の形孫来る	鎌田 星野 光子	屋根強くたたいて夜半の通り雨	鎌田 横坂 末吉	胡瓜這いわが物顔で隣畑	鎌田 寺岡 貞子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 寺岡 貞子	胡瓜這いわが物顔で隣畑
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 吉野 道子	焼酎に酔うてつよがり妻に言い	鎌田 横坂 末吉	焼酎に酔うてつよがり妻に言い	鎌田 星野 光子	匂いくつ綴り台風一過過ぐ	鎌田 横坂 末吉	胡瓜這いわが物顔で隣畑	鎌田 寺岡 貞子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 寺岡 貞子	胡瓜這いわが物顔で隣畑
鎌田 星野 芳江	庭先の草引く手元蝸牛	鎌田 中村 導子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 吉野 道子	匂いくつ綴り台風一過過ぐ	鎌田 横坂 末吉	匂いくつ綴り台風一過過ぐ	鎌田 星野 光子	台風に大波に揺れ桑大樹	鎌田 横坂 末吉	胡瓜這いわが物顔で隣畑	鎌田 寺岡 貞子	妻の忌やしのめばつるむつはの花	鎌田 寺岡 貞子	胡瓜這いわが物顔で隣畑

広報文芸 片品村俳句作家協会
 平成十五年八月俳句会

おしらせ

利根沼田広域市町村 圏振興整備組合職員 募集

利根沼田広域市町村圏振興整備組合では、平成十六年四月一日に採用する職員を募集いたします。

職種・予定人員

○寮母(寮父) 一名

○調理員 一名

勤務内容

○寮母(寮父)

老人ホーム(愛宕・猿ヶ京)における入所者の介護、世話、生活指導業務

○調理員

老人ホーム(愛宕・猿ヶ京)における入所者の給食調理業務

受験資格

○寮母(寮父)

高等学校卒業程度の学力を有し、精神状態及び神経系統に異状がないこと。昭和五十一年四月二日から六十年四月一日までに生まれ、社会福祉士、介護福祉士、看護師、保健師のいずれかの資格を有する人、又は平成

十六年四月までに取得見込みの人
調理員

高等学校卒業程度の学力を有し、精神状態及び神経系統に異状がないこと。昭和五十三年四月二日から昭和六十一年四月一日までに生まれ、調理師免許等にこだわらず、調理業務に意欲がある人

※地方公務員法第十六条の規定に該当しない人(成年被後見人、被保佐人、懲戒免職者等)

給料

寮母(寮父) 短大卒(二十歳)

155,000円

調理員 高卒(十八歳)

144,000円

※学歴、経験年数により加算します。

試験内容・日時及び会場

一次試験

適性検査、一般常識、作文

日時

平成十五年十月十九日(日)

午前九時三十分から

会場 利根沼田広域消防本部

三階 講堂

二次試験

面接

(試験日時、会場等は一次試

受験合格者へ別途通知します。
受付期間
平成十五年九月一日(月)

午前九時から

平成十五年九月二十五日(木)
午後四時まで
申込書の請求先・問い合わせ先

沼田市上原町一八〇一―二

利根沼田文化会館 四階
利根沼田広域市町村圏
振興整備組合事務局
電話〇二七八―三二六九一

平成15年度「群馬銀行環境財団賞」 募集要項

1. 募集対象

- (1) 身近な自然環境を守るための実践活動
- (2) 身近な自然環境を守るための調査研究

2. 応募資格

群馬県内の営利を目的とする事業活動を行わない法人・団体および個人。なお、小・中・高等学校および特殊教育諸学校については、従来より群馬県環境教育賞があり、当財団も後援しておりますので応募の対象から除きますが、学校関係者の応募は可能です。

3. 応募方法

応募用紙(自由)に

- (1) 応募者の名称(団体名または個人)代表者の氏名(団体・法人の場合)
- (2) 所在地(個人の場合は住所)電話番号
- (3) テーマ

を記入し、活動記録(5000字以内)と、写真・機関誌(紙)・研究報告等の主な資料を添えて当財団へ提出してください。

なお、募集書類は返却いたしません。

4. 応募期限

平成15年12月22日(月)

5. 賞の内容

平成15年度は、総額50万円、5点(1点10万円)を表彰いたします。

6. 選考方法

平成16年3月に、財団法人群馬銀行環境財団役員会で決定します。

7. 問い合わせ先

前橋市元総社町171-1 〒371-0846

財団法人群馬銀行環境財団 事務局 渡辺

☎027-255-6160

《知っていますか?建退共制度》

建設現場で働く方々のための業界退職金制度です。全国どこでも!事業主がかわっても退職金は通算できます。

《お知らせ》平成15年10月1日から建退共制度が一部変わります

加入できる事業主:建設業を営む方なら誰でも

対象となる労働者:ほとんど全ての建設業の現場で働く人

掛金:日額300円(平成15年10月1日から310円)

掛金は、全額事業主負担で、損金または必要経費として処理できます。

《建設事業主のみなさまへ》

☆申込手続きは簡単です!(加入時に経費はかかりません)

☆経営事項審査で加点されます!

☆掛金は全額非課税で国が一部を補助します!

《建設現場で働くみなさまへ》

☆建退共の手帳を持っていますか?

☆事業主が変わっても退職金は通算して計算されます!

☆加入者還元のための宿泊割引・レンタカー割引等の提携サービス事業も行っております。

詳しいことは、もよりの建退共群馬県支部へお問い合わせ下さい。

☎027-252-1666 勤労者退職金共済機構 建退共群馬県支部

建退共本部のホームページを開設しました。退職金の試算ができますので、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス

<http://www.all.es.or.jp/~kentai/>

おしらせ

第13回片品芸能鑑賞会例会

「志の輔(しほく)」

レギュラー番組NHKためしでガッテン他CM等テレビでお馴染みの立川志の輔を迎えて例会を開催します。

秋の夜長を落語でお楽しみ下さい。

とき 十月七日(火)

開演 六時三十分

ところ 片品村文化センター

主催 片品芸能鑑賞会

後援 片品村教育委員会

入場料 一般 三、〇〇〇円
高校生以下 一、〇〇〇円

(当日各五〇〇円増)



芸能鑑賞会員 二、五〇〇円
入場券好評発売中
お早めにお求めください。

お申し込みは、お近くの役員まで

大学の先生の講義を沼田で受けられます！

ぐんま県民カレッジオープン
キャンパス「大学出前講座」

『情報発信・販路拡張のためのホームページ作成講座』

この講座は、社会人や経営者の方々のスキルアップを図る目的で開催します。インターネットをビジネス等に活用する一つの手段として捉え、情報発信や販路拡張のためのホームページ作成について学習するものです。

講師 高崎経済大学経済学部助教授 阿部圭司 先生

とき 10月23日から11月27日までの毎週木曜日 午後6時

30分から8時30分 計6回

ところ 沼田小学校パソコン室

受講資格 利根郡・沼田市に在住または在勤の方で、ワー

プロソフトなどの基本的なキーボード操作ができる方

受講料 無料
定員 20名(定員を超えた場合は、抽選にて決定)

申し込み 往復ハガキの往信面に、講座名・住所・氏名・

年齢・性別・職業・電話番号を記入し、9月30日(火)

までに利根教育事務所生涯学習グループへ郵送してください。なお、返信用ハガキには、郵便番号・住所・氏名を記入してください。

詳しくは、利根教育事務所
沼田市東原新町1801番地
☎23-0165へ

十月は土地月間です

地価評価等無料相談会を開催

土地は、私たちにとって限られた貴重な資源であり、日常生活や経済活動に欠かせない基盤です。

そこで、皆さんに土地についての関心を高め、理解を深めていただくとうと「土地月間」が定められました。

これにちなみ、県などでは「地価評価等無料相談会」を開催しますので、皆さん、お気軽にお出かけください。

●日時 十月一日(水)「土地の日」

午前十時から午後三時
●会場 前橋会場
群馬銀行前橋支店

高崎会場
高崎市役所
桐生会場
桐生倶楽部

伊勢崎会場
伊勢崎会場

伊勢崎市役所
太田会場
太田福祉会館

●問い合わせ先
群馬県庁地域創造課
電話〇二七二二六六三三六三

(社)群馬県不動産鑑定士協会
電話〇二七二二四三三〇七七

図書室だより

『約束の冬』上、下

宮本 輝 著

読んでみませんか

「10年後の12月5日の朝、地図に示したところでお待ちしています。」少年は手紙を渡して走り去った。それぞれの10年間で、別離、出会い、忘れかけた過去を取り戻そうと…

約束は果たせるのだろうか。

夢のような、小説の中でしかあり得ない話を楽しめる本です。



図書室カレンダー 9月

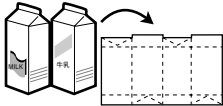
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

*火~金PM1:00~5:00 開室
*■はお休みです。
*○印はみやま号巡回日です

ゴミの資源化・再生利用にご協力を

なぜ、分別収集・資源ゴミの回収が必要なのか

牛乳パック



牛乳パック

- 牛乳パックはよく洗い、広げて出してください。
- 牛乳パックは、あお色のおみ袋へ入れ替えて出してください。

ダンボール・新聞・雑誌類

- それぞれ仕分けして持ちやすいように十字にひもでしばって出してください。



ダンボール 新聞・チラシ 雑誌・本・ノートなど

尾瀬クリーンセンターでは

平成15年4月より新たにダンボール・新聞・雑誌類の資源回収を行っています。回収日と回収場所については、従来のペットボトル・牛乳パックと同じです。

ゴミを減らすには皆さんの力が必要です。

私達が快適な環境をいつまでも維持していくためには、毎日出すゴミの量を減らさなければなりません。

平成11年4月に稼働された尾瀬クリーンセンターは、煙を出さない等の最新の処理機能を備え持つ施設ですが、燃えるゴミの中にそれ以外のゴミが混入していると焼却炉の傷みが進み、処理能力が低下するなど必然的に使用年数が短くなります。また、利根村地内にある一般廃棄物最終処分場の埋め立て期間は、約15年すでに、4年目を迎えています。

ゴミの量を減らして処理施設を長く使うためには、分別収集、資源ゴミの回収が不可欠です。

生まれ育った美しい自然の片品村を守り、限りある資源を守るためにも、発生したゴミを再び資源として生まれ変わらせること(リサイクル)が必要です。

分別収集に協力する、不必要な容器包装をさける、リサイクルされた商品を選ぶ等リサイクルの主役は皆さんです。

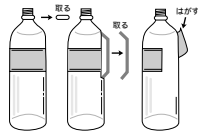
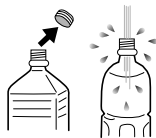
資源ゴミ搬出時のお願い

資源ゴミを出すときは、次のことに注意して出してください。

1. 資源ゴミは、収集日当日に出してください。
2. 収集場所に、午前8時30分までにしてください。
3. ペットボトルのキャップははずして出してください。
4. ペットボトルと牛乳パックは分けて出してください。
5. 紙類は、持ちやすいように十字にひもでしばって出してください。
6. 古紙については、ワープロ用紙などの感熱紙、カーボン紙、防水加工紙、写真、合成紙などは回収できませんので、燃えるゴミとして出してください。
7. 事業系のダンボールは出さないでください。多量にダンボールを出す事業所は、直接回収業者に引き取りを依頼してください。
8. 牛乳パックはよく洗い、広げて出してください。

ペットボトル

- キャップをはずして軽く水洗いしてください。
- ペットボトルはみどり色のあみ袋に入れ替えて出してください。
- できるだけリングや取っ手ははずしラベルをはがし、そのままつぶすように出してください。



【右のマークあるもの】



飲料、酒類、しょう油のボトル

※それ以外のものやこのマークのないものは「もえるごみ」へ



○ よい

飲料 酒類 しょう油



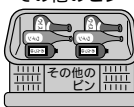
× だめ

しょう油以外の調味料 食用油 非食品

ビンの出し方

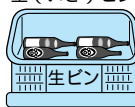
黄色のコンテナ

その他のビン



青色のコンテナ

生(いき)ビン



ビンの収集日程表

第2水	1・2・3・4区
第3水	5・6・7・8区

カン

カン類(アルミ缶・スチール缶)

塗料・劇物等の缶は出さないでください。



缶詰 ジュース缶 ビール缶



中身を出す

軽く水洗い

☆注意☆

7月24日リサイクル施設で、缶とその他燃えないゴミの処理中に、ガスの爆発事故が発生し、機械が破損しました。幸い、一週間程度の修理で復旧しましたが、事故原因としては卓上コンロなどのガス缶と考えられます。県内の他の処理場においても、数千万単位の修理費や数ヶ月に及ぶ修理期間を要する事故がおきています。事故が発生した場合、住民の皆様方の生活に支障をきたしますので、スプレー缶や卓上コンロなどのガス缶を出す場合には、中身を全部使い切り、穴をあけて出すよう住民の皆様各自が注意して下さい。尚、穴をあける際には屋外の広い場所で安全を確認してからおこなって下さい。

穴を開ける



問い合わせ

片品村役場保健課 尾瀬クリーンセンター

お願い

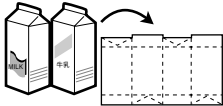
各戸に配布してある「ゴミの分け方・出し方」の表をゴミを出す前にもう一度確認してください。

- ・指定日に指定種類以外のゴミを出さないでください。
- ・燃えないゴミについては、カンとその他燃えないゴミ・ビンの日に分けて、出してください。
- ・燃えるゴミ・カン・ビンとその他燃えないゴミはきちんと分別して、午前8時30分までに、出してください。
- ・収集日以外の日、祝日、年末年始は収集を行いません。(カン・ビン・その他燃えないゴミの収集日が祝日にあたる場合は、収集しません。)
- ・祝日のゴミの直接搬入はできません。(土曜日は午前中のみ搬入可)
- ・指定ゴミ袋でないものは、収集しません。
- ・指定ゴミ袋には、必ず氏名を記入してください。

ゴミの資源化・再生利用にご協力を

なぜ、分別収集・資源ゴミの回収が必要なのか

牛乳パック



牛乳パック

- 牛乳パックはよく洗い、広げて出してください。
- 牛乳パックは、あお色のおみ袋へ入れ替えて出してください。

ダンボール・新聞・雑誌類

- それぞれ仕分けして持ちやすいように十字にひもでしばって出してください。



ダンボール 新聞・チラシ 雑誌・本・ノートなど

尾瀬クリーンセンターでは

平成15年4月より新たにダンボール・新聞・雑誌類の資源回収を行っています。回収日と回収場所については、従来のペットボトル・牛乳パックと同じです。

ゴミを減らすには皆さんの力が必要です。

私達が快適な環境をいつまでも維持していくためには、毎日出すゴミの量を減らさなければなりません。

平成11年4月に稼働された尾瀬クリーンセンターは、煙を出さない等の最新の処理機能を備え持つ施設ですが、燃えるゴミの中にそれ以外のゴミが混入していると焼却炉の傷みが進み、処理能力が低下するなど必然的に使用年数が短くなります。また、利根村地内にある一般廃棄物最終処分場の埋め立て期間は、約15年すでに、4年目を迎えています。

ゴミの量を減らして処理施設を長く使うためには、分別収集、資源ゴミの回収が不可欠です。

生まれ育った美しい自然の片品村を守り、限りある資源を守るためにも、発生したゴミを再び資源として生まれ変わらせること(リサイクル)が必要です。

分別収集に協力する、不必要な容器包装をさける、リサイクルされた商品を選ぶ等リサイクルの主役は皆さんです。

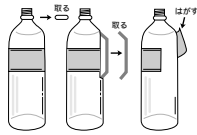
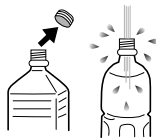
資源ゴミ搬出時のお願い

資源ゴミを出すときは、次のことに注意して出してください。

1. 資源ゴミは、収集日当日に出してください。
2. 収集場所に、午前8時30分までにしてください。
3. ペットボトルのキャップははずして出してください。
4. ペットボトルと牛乳パックは分けて出してください。
5. 紙類は、持ちやすいように十字にひもでしばって出してください。
6. 古紙については、ワープロ用紙などの感熱紙、カーボン紙、防水加工紙、写真、合成紙などは回収できませんので、燃えるゴミとして出してください。
7. 事業系のダンボールは出さないでください。多量にダンボールを出す事業所は、直接回収業者に引き取りを依頼してください。
8. 牛乳パックはよく洗い、広げて出してください。

ペットボトル

- キャップをはずして軽く水洗いしてください。
- ペットボトルはみどり色のあみ袋に入れ替えて出してください。
- できるだけリングや取っ手ははずしラベルをはがし、そのままつぶすように出してください。



【右のマークあるもの】



飲料、酒類、しょう油のボトル

※それ以外のものやこのマークのないものは「もえるごみ」へ



指定日を守ってください

ビンのコンテナ収集についても、まだ指定日を守らない方や袋で出す方(コンテナがいっぱいの時のみ袋でお願いします)がたくさんいます。片品村については、第2、第3水曜日が指定日になっていますので、時間までに各収集場所に置いてあるコンテナに入れて出してください。

収集するビンについては、酒、ジュース、ドリンク剤等のビンですので出来るだけ水洗いをして出してください。

それ以外のビン(化粧品、ジャム、コーヒー等のビン)は、その他燃えないゴミの日に袋に入れて出してください。

ゴミの収集場所がゴミ捨て場にならないように、また、限りある資源を大切に使い、美しい自然環境を守っていくためにゴミの減量化・資源化・再利用にご協力をお願いします。

不明な点がありましたら、気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

片品村役場保健課 尾瀬クリーンセンター

お願い

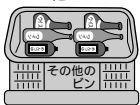
各戸に配布してある「ゴミの分け方・出し方」の表をゴミを出す前にもう一度確認してください。

- ・指定日に指定種類以外のゴミを出さないでください。
- ・燃えないゴミについては、カンとその他燃えないゴミ・ビンの日に分けて、出してください。
- ・燃えるゴミ・カン・ビンとその他燃えないゴミはきちんと分別して、午前8時30分までに、出してください。
- ・収集日以外の日、祝日、年末年始は収集を行いません。(カン・ビン・その他燃えないゴミの収集日が祝日にあたる場合は、収集します。)
- ・祝日のゴミの直接搬入はできません。(土曜日は午前中のみ搬入可)
- ・指定ゴミ袋でないものは、収集しません。
- ・指定ゴミ袋には、必ず氏名を記入してください。

ビンの出し方

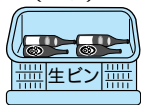
黄色のコンテナ

その他のビン



青色のコンテナ

生(いき)ビン



ビンの収集日程表

第2水	1・2・3・4区
第3水	5・6・7・8区

カン

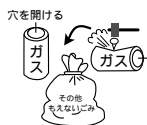
カン類(アルミ缶・スチール缶)

塗料・劇物等の缶は出さないでください。



☆注意☆

7月24日リサイクル施設で、缶とその他燃えないゴミの処理中に、ガスの爆発事故が発生し、機械が破損しました。幸い、一週間程度の修理で復旧しましたが、事故原因としては卓上コンロなどのガス缶と考えられます。県内の他の処理場においても、数千万単位の修理費や数ヶ月に及ぶ修理期間を要する事故がおきています。事故が発生した場合、住民の皆様方の生活に支障をきたしますので、スプレー缶や卓上コンロなどのガス缶を出す場合には、中身を全部使い切り、穴をあけて出すよう住民の皆様各自が注意して下さい。尚、穴をあける際には屋外の広い場所で安全を確認してからおこなって下さい。



おしらせ

法人土地基本調査・法人建物調査にご協力を

本年九月～十月に、全国の約四十九万法人を対象として「法

人土地基本調査及び法人建物調査」が実施されます。

この調査は、全国の法人の土地や建物の所有状況、利用状況を調査するもので、その結果は統計資料として公表され、土地に関する諸施策の企画・立案に際して基礎資料として用いられます。

他、学術・研究機関、企業等でも幅広く活用されます。

調査対象法人の皆様には、9月中・下旬に調査票が郵送されますので、所定の事項にご回答の上、10月31日まで返送下さい。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

水資源開発公団から 独立行政法人“水資源機構”へ



平成15年10月1日から水資源開発公団は独立行政法人「水資源機構」に変わります。水資源開発公団は、水資源の開発または利用のための事業を行うことなどにより、国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することを目的として、昭和37年に設立されました。以来40有余年、日本の水資源開発に貢献してきましたが、水需給をめぐる状況の変化や国民ニーズの多様化にともない、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」ことを目標に、「独立行政法人 水資源機構」が発足することとなりました。戸倉ダム建設事業は水資源機構に引き継がれますが、戸倉ダム建設所は、より一層皆様の声に耳を傾け、皆様の期待に応えられるよう、下に掲げたキャッチフレーズと基本方針のもとで、引き続き事業に取り組んでいきますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

戸倉ダムのキャッチフレーズ ～人と自然のまん中に～

人の生活と自然環境がバランスよく共存できるよう、まん中で橋渡しをしたいという願いを込めました。

戸倉ダムの基本方針

1. 地域に貢献します
2. 情報を発信します
3. 環境に配慮します
4. 効率的に事業を進めます



尾瀬大橋から戸倉集落までの国道401号改良工事は戸倉ダムの工事用道路整備として群馬県と共同で行っています。

群馬県利根郡片品村大字鎌田3870
水資源開発公団 戸倉ダム建設所
電話 0278-58-4501 (代表)
URL <http://www.water.go.jp/kanto/tokura>

オータムジャンボ宝くじ

大きな秋、大当たりの調べ。

9月25日(木) 発売!

1枚 300円!

売り切れしだい
発売終了!

『オータムジャンボ宝くじの賞金は、1等・前後賞合わせて2億円。』

1等	1億5,000万円×20本
前後賞各	2,500万円
2等	1,000万円×20本
3等	100万円×200本

『オータムジャンボ宝くじは、当たり実感のある小額賞金が充実しています。』

4等	5万円×30,000本
5等	1万円×200,000本
6等	3,000円1,000,000本

発売期間は平成15年9月25日(木) から10月10日(金) まで。

抽せん日は平成15年10月15日(水)
当せん金支払開始日は平成15年10月20日(月)

この宝くじは通信販売で買うこともできます。

この宝くじの収益金は市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

いたずらわんぱく

命名

「奏人」は人と運に恵まれる名前だそうです。「大勢の人達の中心となって調和を図ることができ、自分の人生を素敵に奏でられる人になってほしい！」という願いから命名いたしました。

かなと
奏人くん (H14. 9. 25生)

井上憲一郎・渚さん(桶谷)のお子さん



将来どんな人になってほしいですか

何事にも信念を持って自分の意思を貫く強い子になってほしいと思います。

又、自分に厳しく、周囲の人への思いやりを忘れない子に育ってほしいです。

命名

この子が生まれた時顔を見て『カンタ』という名前に決めました。漢字は、私達ができるだけ多くの願いを込めて、この子がその願いとともに大きく健康に育ってくれたらと思い、寛太という字をえらびました。

かんた
寛太くん (H14. 9. 20生)

萩原 聖彦・昌美さん(戸倉)のお子さん



将来どんな人になってほしいですか

何事にも前向きで心の広いあたたかい人になってほしいです。

命名

妊娠してから考えていて、字も響きも好きですし、秋に生まれたので「楓」。姓名判断と私達の思いが一致していたので決めました。

かえて
楓ちゃん (H14. 9. 28生)

萩原 崇・千春さん(土出)のお子さん



将来どんな人になってほしいですか

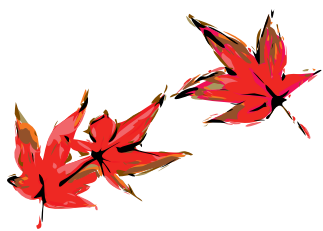
元気でやさしい人。沢山の人、色々な物を愛してほしい。色々な事に挑戦し、できるだけ多くの事を経験してほしいと思います。いつも前向きで明るく楽しく過ごしてほしいですね。

奥さん納期ですよ!

今月の納期は

国民健康保険税	第6期
固定資産税	第3期

納期は9月30日です



窓口から

七月二十日、八月十九日

おめでた

生まれた赤ちゃん 五人

千明 伸行 男 下平
星野 英樹 男 須賀川
笠原 昌也 男 越本
小池 智也 女 奈本
小池 智也 女 瑠平
小池 智也 女 依平

結婚された方々 五組

○星野 芳和 花咲
○大矢 有紀 前橋市
○石塚 正雄 花咲
○山下 みどり 埼玉県
○高橋 幸一 福島県
○吉野 佳子 越本
○原口 哲也 大阪府
○鹿野 まゆみ 花咲
○早川 幸成 大間々町
○入澤 加奈 鎌田

おくやみ

亡くなられた方々 四人

千明 宗一 五七歳 東小川
小柳 ヨツ 八二歳 鎌田
笠原 たつ 九九歳 越本
戸丸 廣司 八四歳 花咲

※掲載を希望されない場合は届出の際に申し出てください。